

各興行のコロナ対策により、映画に対する期待値が向上 ムビチケ前売券(オンライン)の販売枚数が前年同月比約 130%に！

デジタル映画鑑賞券「ムビチケ」を販売する株式会社ムービーウォーカー(代表取締役社長：五十嵐淳之)は、コロナ禍にも関わらず、2020年8月度のムビチケ前売券(オンライン)の販売枚数が前年同月比129%となる83,759枚を記録したことをご報告させていただきます。



株式会社ムービーウォーカーが運営する、インターネットで座席指定できるデジタル映画鑑賞券「ムビチケ」は、2011年のサービス開始以来、その利便性のよさから全国の映画ファンより高い評価をいただき、提携映画館数も年々拡大を続け、現在ではシネコンを100%カバーするまでとなりました。特に、「ムビチケ前売券(オンライン)」は2018年6月にポイントサービス、10月にソーシャルログイン機能も導入しユーザーへの利便性が高まったことで、さらに好調に売り上げを伸ばしております。2019年4月にはムビチケを購入できる映画アプリ「MOVIE WALKER」、7月にはポイントを使って購入できる「ムビチケ当日券&映画 GIFT」をリリース、さらには2020年6月に新しい会員サービス「MOVIE WALKER 会員」を立ち上げ、ムビチケの活用を広げています。

2019年の年間興行収入は過去最高となる2611億円(※注1)を記録しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国で発令された緊急事態宣言の影響を受けて、2020年5月の興行収入は前年同月比98.9%減の約1億9600万円に。緊急事態宣言解除後、興行各社による徹底した新型コロナウイルス感染予防対策によって、徐々に映画館に映画ファンが戻ってくるようになり、公開延期となった作品の公開も続々と決定。現在も感染予防のために座席数を減らしての上映が続いているものの、夏の映画興行も邦画を中心に盛り上がりを見せました。

※注1：2000年から興行収入による集計方法が変わってから

映画アプリ「MOVIE WALKER」にて毎月実施しているアンケートでも、「コロナに負けずに、予防しながら映画館通います！」「観たい作品が上映されれば必ず観に伺いますので、各業種一体になって頑張してほしい」といった映画館での鑑賞に対して意欲的なご意見を数多くいただいています。

映画業界全体の取り組みがユーザーの鑑賞意欲を向上させ、結果として2020年8月度のムビチケ前売券(オンライン)の販売枚数好調に結びついているものと思われます。

今後ともムビチケをどうぞよろしくお願い致します。

ムビチケ前売券(オンライン)とは？

ネットで座席指定ができる通常料金よりオトクなデジタル映画鑑賞券です。通常料金より、最大500円^{※1}もオトク!! 映画が公開したら、ムビチケ対応の映画館のウェブサイトですべて座席指定^{※2}ができ、鑑賞当日は映画館の自動発券機で入場券を発券するだけでスマートに入場できるチケットサービスです。<https://mvtk.jp/>

^{※1} 通常一般券との比較。 ^{※2} 一部対応していない映画館がございます。お買い求めやお出かけの前に、ムビチケの対応可否をお確かめください。

※一部映画館では、IMAX3D/MX4D/4DX/3D等を含む特別上映がございます。ご鑑賞予定の映画館のホームページから座席指定をする際に、追加料金をお支払いいただくことでご鑑賞いただけます。(一部映画館ではご利用できない場合がございます。)